

# 自蹊庵便り

平成二十九年睦月

NO 123

（今にして憶るる閑古錐）

一年がさらさらと川の流れのように下つていきます。淀みなくと云いたいところですが、岩間をすり抜け、ごろた石にぶつかり、高き山から湧き出ずる清き水は岩をも砕き、荒く尖った砕かれし石達は、やがてゴロゴロと流されるほどに角が取れ、丸いほどよいごろたへと姿を変え、おさまり良き処に落ち着き、山紫水明の名脇役となりて、語らずして語りかけてくるごろた石に心引かれます。このような年重ねでありたいと思います。

今一つは、山梨の道志に水汲み小屋（小

さな小さな掘つ立て小屋）を持ち、山また山の谷間を道志川が流れ、その甘露な水を茶の水にせんと、茶事ある毎に山から運んでいた勢いも、今は少し衰えを感じつつ、折り合いをつけつつの日々にございます。折り合いとは誠に都合の良き言葉にございます。されど体をつぶさず、諦めることなくをもつとうとすれど、年々に折り合いというものにうべなう日々が多くなつてきております。

サンライズサンセット、大海を眺めつつ、人々の営みの慎ましやかさをおしく思ひ、山にこもっては日がな一日川音を聴きながら好きな本を読んでいるはずであった七十代の青写真、何をどうお試しなさろうとしているのかしら神様は…。まるで菓子餡を手の上で、ころころ丸めるが如く私のもまた神仏の手の平の上であつちころころ、こつちころころと転がされ、晴耕雨

読の青写真は風に吹き飛ばされ、落葉のよう川に流されていつてしまったようです。大海に流れ着くのでしょうか…。

井の中の蛙大海を知らずされど天を仰げると、自らを叱咤激励してきた人生なれど、いやはや心許ない木の葉舟は、何処へ辿り着こうとしているのでしょうか？ いえいえ、何処でもいいのです。座礁してもよいのです。それが神様の試みであれば…。今日一日生かされている事実がそこにあるのですから…。

車も新車から二十万キロまで乗りつぶして只今五台目が二十四万四千キロを越えております。六台目はもう中古にしようかしら…。後何年鍋釜を積載して走るのでしょうか…。京都教室も七十五歳まで…と決めてはいたものの残す処あと二年、テレビ放送のお陰様でお人との御縁深まるばかり、心篤き人々遠くを厭わずに来たれば今日

も茶事に働く。このような日記とも歌ともつかないものを手帳の隅に書き記し置く日々でございます。

答えは神様にお預けして心身惜しみなく、働き続けるといふ事が、生かされていることを全うすることなのかもしれませんね。

心温ぬくき人々に支えられ、もったいないことにございます。元はと云えば貧乏性ゆえ、お人の三倍も五倍も恥をかき心身に叩き込まなければ、人並みには何事も到達できぬと思ひ定めての、恥かき処を仕事に選んで歩んできただけです。段取りと片付け、段取りと片付けと一年中這い廻っておりません。それでもその先に僅かな光明がございます。

それは、始めゴワゴワと固かった木綿の生地も使うほどに柔らかくなり、洗濯するほどに優しい肌触りになり、最後は赤子のおむつに程良い使い心地になっていく。いつだったかある方が、なんでそんな大変な仕事を選んでやり続けているのですか：と聞かれたことがございます。恥をかくほど大きな月謝はなく、身に染みて脳が覚え、

体が覚えるから：、そしてそれを繰り返しているうちに齡をとった頃には赤ちゃんのおむつに使える程の柔らかい布になり、最後は惜しみなく使い捨て雑巾にまで重宝がられる：こんなのが理想だし、目標かなって云ったことがございます。私に問いかけた若い人は、今は柔軟剤も漂白剤もあります。紙おむつの時代にそんなボロ布使う人はいませんと云われ、二人して顔を見合わせて笑ってしまいましたが、同じ時を共にし、声をたてて笑うも、その笑い同じからず：と云ったところでしょうか。

只今七十三歳、新しき年を迎えまた一つよわい齡を重ねます。冒頭に掲げた言葉にありますがように、閑古錐という言葉、年々歳々益々に懂れます。古錐とは使い古した錐きりのこと、長く使い込んだ錐は先が丸くなってしまします、突き刺すような鋭さを失い役目としては用無しのようにも思えますが、丸くなった錐は川の流れにもまれて角がとれたごろた石にも通じ、それぞれ逆らわずして全うした姿に、年月の静かさが語らずして語りかけてくれるもののごさに圧倒

されます。懂れます：というわけで、閑古錐を目標に、御縁を賜りました多くの皆様と共に、手を携え、新しい年も一会一会心を重ね合って歩んでまいりたいと願っております。

平成二十八年という年は、日本中の多くの皆様にお世話になりました。撮影中の旅から放映後に御縁を賜りました皆様、身に余るお手紙、FAXの数々、二百通を優に越えております。拙庵への御来庵も含め、誠に分に過ぎた一年にございました。心より感謝申し上げます。

平成二十九年（二〇一七年）、が稔り多き、心豊かな年でありますよう、お健やかに過ごせる年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

お健やかなご越年を祈念して。

~~~~~  
今回は東金教室申込方法変更の連絡のため、発送を急いでおります。そのため、読んで得するおまけのページ及び一筆メッセージが間に合いません。御了承ください。年間スケジュールも次号掲載予定です。